

10
Oct 2017

なるiイン

もっと身近に！
ピンクリボン



ピンクリボンに込められた思い 「乳がん検診のすすめ」

監修：島田穂子(ピンクリボンプレストケアクリニック表参道 院長)

ピンクリボンは乳がんの早期発見の啓発運動

ピンクリボン運動は、1980年代に乳がん患者が増加しつつあったアメリカで、乳がんで亡くなった人の家族が「同じ悲しみを繰り返さないように」と乳がんの早期発見の啓発を始めたのがきっかけです。

その後、アメリカから世界へ、また、個人から行政、市民団体、企業などへと活動は広がり、乳がん検診を促すイベントやピンクリボンをあしらった商品の頒布などにより、人々の意識を変えてきています。

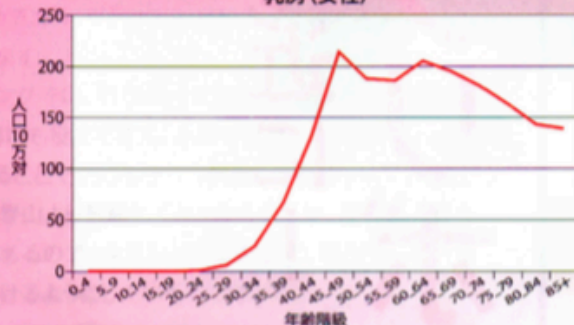
乳がん検診の受診率向上へ

乳がんの罹患率は年齢が上がるにつれて高まる傾向にあり、右図のように40代後半でピークをむかえますが、医療の進歩により非常に早期に発見することができ、かつ、早期に治療をすれば治療する確率が高くなります。つまり、乳がん検診を受け、早期発見に努めることがとても大切。

ところが、日本における乳がん検診の受診率は2013年で43.4%と過半数にも届きません。一人ひとりが乳がん検診への関心を強め、もっと受診率を上げるために、日本においてもピンクリボンの重要性は高まるばかりです。



年齢階級別 罹患率(全国推計値)2012年
乳房(女性)



*出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」
年齢階級別 罹患率(全国推計値)2012年乳房(女性)

乳がんの早期発見と
早期治療の大切さを
知ってほしいから

ピンクリボン 検定

ピンクリボンという名称は知っていても、その正しい知識と理解をもっていますか？

それををはかるのが、認定NPO法人 J.POSH(日本乳がんピンクリボン運動)が実施している「J.POSH ピンクリボン検定」です。検定を受けることに

より、乳がんの早期発見と早期治療の大切さを知り、乳がん検診の受診につなげることを目的としています。

検定を受ける方法は簡単。J.POSHのサイト上において、無料で受検できます。回答はマークシート式で、1問回答することに正解と解説が表示されます。1コース20問あり、14問正解で合格です。合格証の必要な方は3,000円が必要になります。

ピンクリボン検定サイト▶<http://www.j-posh.com/exam/>

取材協力：認定NPO法人 J.POSH

男性版ピンクリボン モーベンバー



前立腺がんによって代表される男性のがんにも、もっと関心を払ってほしいと訴える運動が「モーベンバー」。海外では毎年11月に、1カ月間ひげを伸ばして男性のがんを啓発し、寄付を募る「Movember」(NovemberとMoustache(Mustache/口ひげ)の合成語)という運動が実施されており、多くの人がひげを伸ばしてパーティに参加します。

昨年、日本でも「モーフェスタ」というラン&ウォークイベントが開催されました。参加資格はひげやひげが描かれたアイテムを身につけること。これを発案したのは、NPO法人腺友倶楽部の武内務さん。自ら「手術は困難」といわれた前立腺がんを克服した体験がきっかけとなり、前立腺がんの早期発見と症状に応じた適切な治療法選択の重要性を呼びかけています。

イエローリボン

障がいのある人の
社会参加を推進

2006年に国連で採択され2014年1月に日本が批准した障害者権利条約の実施を通じて、障がいのある人々の社会参加を推進するための活動のシンボルがイエローリボンです。どんなに重い障がいがあっても、住み慣れた街で心豊かにその人らしく暮らし、学び、働くことができる社会を目指しています。

取材協力：日本障害フォーラム

透明リボン

見えない障がいを
知らせるバッジ

体の内部に障がいがある人、難病の人、発達障がい、色覚障がい、難聴など、一見わかりにくい障がいを抱えている人たちを支援するもの。バッジには透明なリボンに、『星の王子さま』から引用されたキツネの台詞、「大切なものは目に見えない」と書かれています。啓発用と当事者用があり、当事者用にはハートマークがついています。

取材協力：わたしのフクシ。編集部

オレンジリボン

子ども虐待防止を
呼びかける

11月 児童虐待防止推進月間

オレンジリボン運動は、子ども虐待のない社会の実現を目指す市民運動であり、認定NPO法人「児童虐待防止全国ネットワーク」が主催しています。オレンジ色は子どもの明るい未来を表すもの。オレンジリボンは、子育てを温かく見守り、子育てをお手伝いする意思のあることを示すマークです。

取材協力：認定NPO法人 児童虐待防止全国ネットワーク

さまざまなピンクリボン活動が展開されています。 その一部をご紹介します。



取材協力/画像提供:日本対がん協会

ピンクリボンスマイルウォーク

乳がん啓発ウォークで、今年は「あなたもピンクリボンのサポーターに」を合い言葉に実施します。距離別にいくつかのコースに分かれ、ピンク色のTシャツやゼッケンなどを身につけた参加者が街を歩くもの。個人でも企業団体でも参加できます。

開催地: 東京、神戸、仙台
日程: 10月7日(東京)
10月14日(神戸)
10月28日(仙台)
主催: 日本対がん協会



取材協力/画像提供:日本女子テニス連盟

乳がん早期発見・啓発キャンペーン・ピンクリボンレディーステニス大会

全国規模のイベントで、2003年から毎年開催しています。あわせて、オリジナルのピンクリボンバッジを販売して積み立てたピンクリボン基金やピンクリボン募金により、各地の医療団体にマンモグラフィを寄贈、大会へマンモバスを派遣しています。

開催地: 全国47都道府県
日程: 4月から予選大会を開催、
10月に決勝大会
主催: 日本女子テニス連盟



取材協力/画像提供:ジュビターゴルフネットワーク株式会社

ゴルフネットワーク ピンクリボンチャリティゴルフ

多くの女性ゴルファーに元気にゴルフを楽しんでもらいたい! そんな思いを込めた女性限定イベント。2人1チームのチーム戦で、ピンクのアイテムを身につけることが参加条件です。参加費の一部は日本対がん協会に寄付されています。

開催地: ロッテ皆吉台カントリー倶楽部
日程: 11月24日(予定)
主催: ジュビターゴルフネットワーク株式会社



取材協力/画像提供:NPO法人 日本ネイリスト協会

日本ネイリスト協会 ピンクリボンネイルアートコレクション

ピンクリボン運動の趣旨に賛同する著名人とトップネイリストが共同制作したネイルチップの展示。世界最大級のネイルイベント「東京ネイルエキスポ2017」での展示後、展示作品はチャリティーオークションに出品され、収益金は日本対がん協会「乳がんをなくすほほえみ基金」に寄付されます。

開催場所: 東京ビッグサイト
日程: 11月12日~13日
主催: NPO法人 日本ネイリスト協会



取材協力/画像提供:エスティ ローダー グループ

グローバル ランドマーク イルミネーション

「ピンクのライトアップは乳がんに立ち向かう希望の光」として世界の主要建造物をライトアップ。2000年に開始し、さまざまなランドマークをピンク色にライトアップして乳がんの正しい知識と早期発見の大切さを伝えています。

開催場所: 世界の主要建造物
昨年、日本では東京タワー、
東京スカイツリー、清水寺、
姫路城などをライトアップ
日程: 10月1日
主催: エスティ ローダー グループ

他にも、
いろいろな色の
リボン活動が。



グリーンリボン

臓器提供の
意思表示を啓発

10月 臓器移植普及推進月間

グリーンリボンは世界的な移植医療のシンボル。グリーンは成長と新しい命を意味し、命のつながりを表現しています。今年は臓器移植法施行20周年! 公益社団法人日本臓器移植ネットワークでは、より多くの人に移植医療について理解して意思表示をしてもらうため、全国各地で様々なキャンペーンを展開しています。

取材協力:グリーンリボンキャンペーン実行委員会



レッドリボン

エイズへの理解と
支援の象徴

12月1日 世界エイズデー

レッドリボンは、アメリカでエイズが社会的な問題となってきた1990年頃からエイズのために使われ始めました。レッドリボンは、あなたがエイズに関して偏見をもっていない、HIVとともに生きる人々を差別しないというメッセージです。このレッドリボンの意味を知り、レッドリボンを身につけることによって、HIV/エイズのことをみんなで考えましょう。

取材協力:公益財団法人 エイズ予防財団